

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当
TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡 同上
改訂 平成21年12月9日

化学物質等のコード :1426-6332

化学物質等の名称 :4-ノニルフェノール (p-ノニルフェノール)

2.危険有害性の要約

分類の名称 : 腐食性物質
危険性 : 引火点は高いが、可燃性がある。
酸化剤と接触すると、反応することがある。
有害性 : 皮膚、粘膜などを刺激する。経口摂取すると、腹痛、悪心
嘔吐、咽頭痛などを起こすことがある。
環境影響 : データなし

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 単一製品
化学名 : 4-ノニルフェノール
別名 : p-ノニルフェノール、p-n-ノニルフェノール
成分及び含有量 : 4-ノニルフェノール 90%以上
化学式又は構造式: C₉H₁₉C₆H₄O₂
分子量 : 220.35
官報公示整理番号 化審法 : 3-503
安衛法 : 公表
CAS No. : 104-40-5
危険有害成分 : 4-ノニルフェノール

4.応急処置

目に入った場合 : 直ちに流水で15分以上洗い流し、速やかに眼科医の処置を受ける。
皮膚に付いた場合 : 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
吸入した場合 : 直ちに患者を毛布などにくるんで安静にさせ、新鮮な空気
の場所に移す。鼻をかませ、うがいをさせる。
飲み込んだ場合 : 毛布などで保温して安静にさせる。多量の水または食塩水を
飲ませて吐かせる。直ちに医師の処置を受ける。

5.火災時の処置

消火方法 :
(周辺火災の場合) 速やかに容器を安全な場所に移す。
移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する
(着火した場合) 初期の火災には、粉末・二酸化炭素、乾燥砂などを用いる
大規模火災の際には、泡消火剤などを用いて空気を遮断
することが有効である。
消火作業の際には必ず保護具を着用する。
消火剤 : 粉末・二酸化炭素、乾燥砂、泡

6.漏出時の措置

風下の人を退避させる。
漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして、人の立ち入りを
禁止する。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
作業の際は必ず保護具を着用する。風下で作業をしない。
(少量) 漏洩した液は、土砂などに吸着させて空容器に回収する。
(多量) 漏洩した液は、土砂などでその流れを止め、安全な場所に
導き、液の表面を泡で覆い、できるだけ空容器に回収する。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い : 皮膚などに付いたり、蒸気を吸入しないように適切な
保護具を着用する。

保 管 : 容器は密栓して冷暗所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

管 理 濃 度 : 設定されていない
許 容 濃 度 : 日本産業衛生学会 : 設定されていない
ACGIH : 設定されていない
設 備 対 策 : 蒸気発生源は密閉化するか、または、局所排気装置を設置する。
保 護 具 : 必要に応じて、保護手袋、保護眼鏡、有機ガス用マスクを着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外 観 等 : 無色～淡黄色液体、わずかなフェノール臭
沸 点 : 293～297
融 点 : 2
揮 発 性 : 無
蒸気密度 : 7.6
比 重 : 0.950(20)
粘 性 率 : 1,100～1,400cPs(20)
溶解度 : 水に難溶。
エタノール、ジエチルエーテル、ベンゼンに可溶。
log Pow : 3.28

10. 安定性及び反応性

引 火 点 : 140.6 爆発限界 : 上限 データなし
下 限 データなし
発 火 点 : 370
可 燃 性 : 引火点は高いが、可燃性がある。
自己反応性・爆発性: 加熱すると、蒸気が発生し、蒸気は空気と爆発性の混合気体を生成することがある。
安定性・反応性 : 通常の取扱条件で安定。
酸化剤と接触すると、反応することがある。

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

刺激性(皮膚、眼): 皮膚、眼などを刺激する。
ウサギ 皮膚 10mg / 24H open Severe
ウサギ 眼 50 µg open Severe
感 作 性 : データなし
急性毒性(50%致死量等を含む):
経口摂取すると、腹痛、悪心、嘔吐、咽頭痛などを起こすことがある。
ラット 経口 LD50 = 1,620mg / kg
ウサギ 経皮 LD50 = 2,140mg / kg
亜急性毒性 : データなし
慢性毒性 : データなし
がん原性 : データなし
変異原性 : データなし
生殖毒性 : データなし
催奇形性 : データなし

12. 環境影響情報

分 解 性 : 0% by BOD
蓄 積 性 : 濃縮性(倍率) コイ 2.5～5.3倍
(0.1mg / l)
コイ 0.9～2.2倍
(0.01mg / l)
魚 毒 性 : ヒメダカ LC50 / 48H: 0.95mg / l

13. 廃棄上の注意

エタノールなどの可燃性溶剤と混合して、スクラバーを具備した焼却炉で焼却処理を行う。

14. 輸送上の注意

容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無いように積み込み、荷くずれ防止を確実にを行う。
該当法規に従って取扱、包装、表示、運送を行うこと。
(国、都道府県並びにその地方の法規、条令に従うこと。)

